

日本学校教育相談学会栃木県支部

THE JAPANESE ASSOCIATION OF SCHOOL COUNSELING AND GUIDANCE

栃木支部会報 2009.07.15 11号

- 平成21年度日本学校教育相談学会栃木支部総会
- 記念講演 演題 「マス・メディアからみた教育問題」 山越 克雄先生（下野新聞社論説委員）
- 学校カウンセラー認定基準
- 栃木支部平成21年度事業計画（別紙）

○ 平成21年度日本学校教育相談学会栃木支部総会

平成21年5月30日（土）に教育会館5階小ホールにおいて平成21年度日本学校教育相談学会栃木支部の総会と記念講演が行なわれました。

総会議事

- (1) 平成20年度事業報告、並びに決算報告
- (2) 「会計監査」報告
- (3) 平成21年度事業計画案、並びに予算案審議
- (4) その他

栃木支部役員

支部理事長 丸山 隆
事務局長 谷津 嘉子
理事 池田 清恵、伊澤 裕
小川 正人、金子 賢
川俣 幸雄、佐藤 幹雄
柴 一弥、原田 浩司
藤浪 直紀、毎澤 典子
会計監査 笠原 光雄、斉藤 誠一郎
【五十音順】

支部役員については2年間の任期中につき変更なし。

○ 記念講演

演題 「マス・メディアからみた教育問題」

講師 山越 克雄先生（下野新聞社論説委員）

今年の記念講演は、「教育現場を外側からみる」という視点から下野新聞社論説委員の山越克雄先生をお迎えし、「マス・メディアからみた教育問題」について新聞記者という立場から紙面の活字とは一味違う切り口で、教育現場が現在抱えている問題についてご講演頂きました。

今日は「私が見た教育現場の問題を“広く浅く”お話します。居間でテレビを見ているような気軽な気持ちで聞いてほしい

い。そんな中でも皆さんの心に残るものがあると思います。」と話されました。

山越先生は、不登校を「登校拒否」としていた頃に日野先生や丸山先生にアドバイスを受けながら、これらの生徒たちと関わった体験が教育問題への関心を高めたこと、その後の教育問題への関心が「不登校の世界」、「いじめの世界」、「非行の世界」と移っていったと話されました。「本当は、教育問題に深く関わりたかったのですが、新聞記者なので次から次へと色々な取材をしなければならなかったので“広く浅く”です。教育現場の皆さんには怒られてしまうかも知れません。」と付け加えた後に、先生は、現在の教育現場はゆとりのない時代であり、それは教育に市場の原理や競争の原理が導入されて「心の教育」が減ってしまったからではないか、何か精神的な柱が必要なのではないか、道徳教育がその1つではないかと思っていること、教育とは「子どもの自立」が最大の目的ではないか、よって教育とは「子どもを引っ張り上げてやること」だと考えていると話されました。「子どもの立場や子どもの目線」を知ることは必要だと思うが、子どもと同じレベルでは引っ張り上げてやれないのではないかと考えていると話されました。

その後、社会情勢を踏まえて不登校、いじめ、クレーマー、教育者の犯罪、教育現場の環境、保護者・子どもが教師を評価することについて、保護者が教員採用時の面接官になること、学校選択制、体罰やマナーなど文部科学省や教育委員会の考えを取り混ぜ、先生の考えを話されました。それは、教育現場に携わる者なら一度は感じたことのある矛盾や憤りに共感的な理解を示してくれる内容でした。
(藤浪直紀 記)



○ 学校カウンセラー認定基準

詳しいことは事務局までお問い合わせください。

*基本条件

- (1) 本学会の会員として3年以上所属すること
- (2) 教職経験（指導主事を含む）が10年以上に達していること。
- (3) 教育相談係として（またはそれに準ずるもの、例えば生徒指導主事・養護教諭等）として、5年以上の経験があること。

*基本条件を充たしていたら次に必要な内容を確認したり、資料を用意してください。

- (4) 教育相談の実績を5例以上
- (5) 研究発表の実績（本学会件研究大会、又は都道府県や政令指定都市以上の他学会や研究会において申請5年以内に1回以上口頭発表あるいは論文による発表があること。
- (6) 学校カウンセラーにふさわしい研修を受け、修了証などがあること
 - ◆学校教育に関する理論 (120分程度のものを8回以上)
 - ◆心理臨床に関する理論 (120分程度のものを8回以上)
 - ◆学校教育相談の技法に関する理論と演習 (120分程度のものを8回以上)
- (7) 学校カウンセラーとして校内や相談機関で他の教職員と連携を保ち業務を遂行するにふさわしい識見・人柄をもっていること。

このために本学会は学校カウンセラー認定にあたって、面接審査を行うことが特徴です。「人と人とのかかわり」に関する資格では面接審査が欠かせないと考えているからです。ロールプレイばかりでなく、日常の相談活動に対する考えを聞かせていただくのが目的です。

日本学校教育相談学会栃木支部

〒320-0066 宇都宮市駒生 1-1-6 教育会館内 栃木県教育研究所相談部内（事務局 谷津・中山）
TEL 028-621-7274 FAX 028-627-5682、E-Mail : gakkai@t-rk.jp または soudan@t-rk.jp
(発行責任者 丸山 隆 / 広報担当者 藤浪 直紀)